

えとの方に
聞きました！

人時 ほうもん



今月は、今年のえと「丑(うし)年」の昭和60年に生まれた二般社団法人深川青年会議所の3人に、新年の抱負などを語っていただきました。

今年のみなさんにとって、どんな年になるのでしょうか。

宗教学者大國神社禰宜
おのにしこうた
大西 康太さん

大國神社は、深川市の開拓と深い関わりがあり、歴史あるこの神社を守ることは自分の使命です。訪れる方々の心が安らぐよう、清掃などにも力が入ります。青年会議所では、異なる仕事を持つ者同士で協力して事業に取り組むので、視野が広がり、できることも多くなります。

神社は、地域の方々の支えで守られているので、恩返しをするため、今年は感染症の一日も早い終息を祈念しつつ、自分ができることをやっていきます。



有限会社前村板金工業代表取締役
まえむらたたくや
前村 拓也さん

板金工事は住宅や倉庫の屋根の上での作業が多く、危険もありますが、建物の性能に直結するので、職人として誇りを持って仕事をしています。青年会議所では、普段の仕事とは違った苦勞もありますが、仲間とは、いつも互いを刺激し合っています。

感染症の影響でさまざまな活動が制限されていますが、建設業界や地域の発展を目指し、今年は仕事や青年会議所の活動一つ一つに、楽しみながら取り組んでいきたいと思っています。



有限会社旭クリーニング取締役専務
もりい たいき
森井 泰樹さん

衣服の素材は、絶えず新しいものが開発されています。クリーニングはお客さんの大切な服を預かるので、素材に合う洗い方などを日々研究しています。青年会議所では、青少年育成事業をはじめとする行事を主催するなど、地域の方々の笑顔につながる活動にやりがいを感じています。

地域の役に立つためには、さまざまな経験を積むことも大切だと考えているので、今年は深川を元気にするような取り組みを考え、実行していきます。



深川と一緒に盛り上げる
仲間を募集中！

